

滋賀の子育て・子育て応援フォーラム

日時 平成18年2月16日(木) 13時30分～16時 (13時開場)

場所 野洲文化ホール 大ホール 野洲市小篠原2142

先進事例 ドキュメンタリー上映 13:30～14:30

参加無料

「ミニ・ミュンヘン ～子どもがつくる、もうひとつの都市～」

卯月 盛夫氏 (早稲田大学教授)

対談 14:30～15:30

「子どもの育ちを応援するおとなの視点」

卯月 盛夫氏 (早稲田大学教授)

浜田 進士氏 (聖和大学助教授)

報告 15:30～16:00

「子どもの世紀の実現に向けて」

滋賀県子ども家庭課

ぜひご参加ください！
「ミニ・ミュンヘンとは？」
裏面の解説をご覧ください。



午前中には、汐見 稔幸氏 講演会「笑顔あふれる子育て・子育てって？ ～家族で、地域で支え合う子育て～」が開催されますので、ぜひ併せてご参加ください。(片方みの参加も可能です。)

定員 500名(どなたでも参加できます。)

託児あり(1歳以上 先着20名 要事前申込) 親子席もあります。

手話通訳あり

お申し込みは、電話・FAX・メールまたは郵送で下記まで。(裏面の申込書をご利用ください。)

主催 滋賀県

お問合せ 滋賀県子ども家庭課

TEL 077-528-3557

FAX 077-528-4854

E-mail SYOUSHIKA@pref.shiga.lg.jp



(駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。)

ミニ・ミュンヘンとは？

ミニ・ミュンヘンは子どもたちだけで運営する「小さな都市」であり、夏休み期間だけドイツのミュンヘン市に誕生し、すでに20年の歴史があります。

ミニ・ミュンヘンでは、子どもたちが自分で好きな仕事を見つけて働き、「ミミュ」という通貨で給料をもらい、そのお金で食事をしたり映画を見たりすることができます。仕事の種類は、コックさん、タクシー運転手、新聞記者、教員、そして公務員や市長さんまでたくさんの仕事があり、まちの運営や法律の改正まで、すべて子どもたち自身で行います。



今回のフォーラムでは、早稲田大学 教授 卯月 盛夫氏をお迎えして、ミニ・ミュンヘンでの子どもたちのいきいきとした様子や、それをサポートするおとなのインタビューなど、ドキュメンタリー映像をもとにご紹介いただきます。

家庭で、地域で、社会全体で子どもたちを支えていくために、おとなはどのような行動がとれるのでしょうか、ミニ・ミュンヘンの取り組みをとおしてみんなで考えてみませんか？

講師、対談者のご紹介



卯月 盛夫氏 (建築家、都市デザイナー)

早稲田大学大学院を修了後、ドイツのシュトゥットガルト大学に留学、その後ハノーバー市、世田谷区都市デザイン室、世田谷まちづくりセンター所長を経て、95年より早稲田大学教授。04年、有志と共にミニ・ミュンヘンの映像化に取り組みされる。
主な著書：『共に住むかたち』『新しい交通まちづくりの思想、コミュニティからのアプローチ』

浜田 進士氏 (子どもの人権ファシリテーター)

日本ユニセフ協会、NGO 国際子ども権利センターを経て、現在、聖和大学助教授、子どもの権利条約総合研究所研究員
主な著書：『おとなのための子どもの権利条約』『検証 子どもの権利条約』
『イラスト版 子どもの権利 子どもとマスターする50の権利スキル』

滋賀の子育ち・子育て応援フォーラム参加申込書

フリガナ		託児が必要な方へ	
氏名		・お子さんの名前 年齢 ()	
ご住所		親子席の利用	有・無
電話番号		その他 ・手話通訳等、配慮すべきことなど ()	

記載いただいた内容は、本フォーラムの運営管理目的のみに使用させていただきますのでご了承ください。